

【報道関係各位】

2024年3月13日
一般財団法人 日本気象協会

2024年桜開花満開予想（第4回） 12日 宿毛で開花がスタート 東京の開花は21日か

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、日本全国 83 地点の桜の開花予想（第4回）を、2024年3月13日（水）に発表します。

開花・満開の傾向

3月に入り、気温は全国的に平年より低く推移しています。東京都心では3月として4年ぶりとなる積雪を3月8日に観測しました。

このあと3月中旬から下旬にかけては春分の日前後に寒気の影響を受けますが、期間を通すと気温は平年より高く推移する所が多く、4月以降もその傾向は続く見込みです。そのため桜の花芽は順調に生長し、開花・満開ともに、全国的に平年より早くなるでしょう。

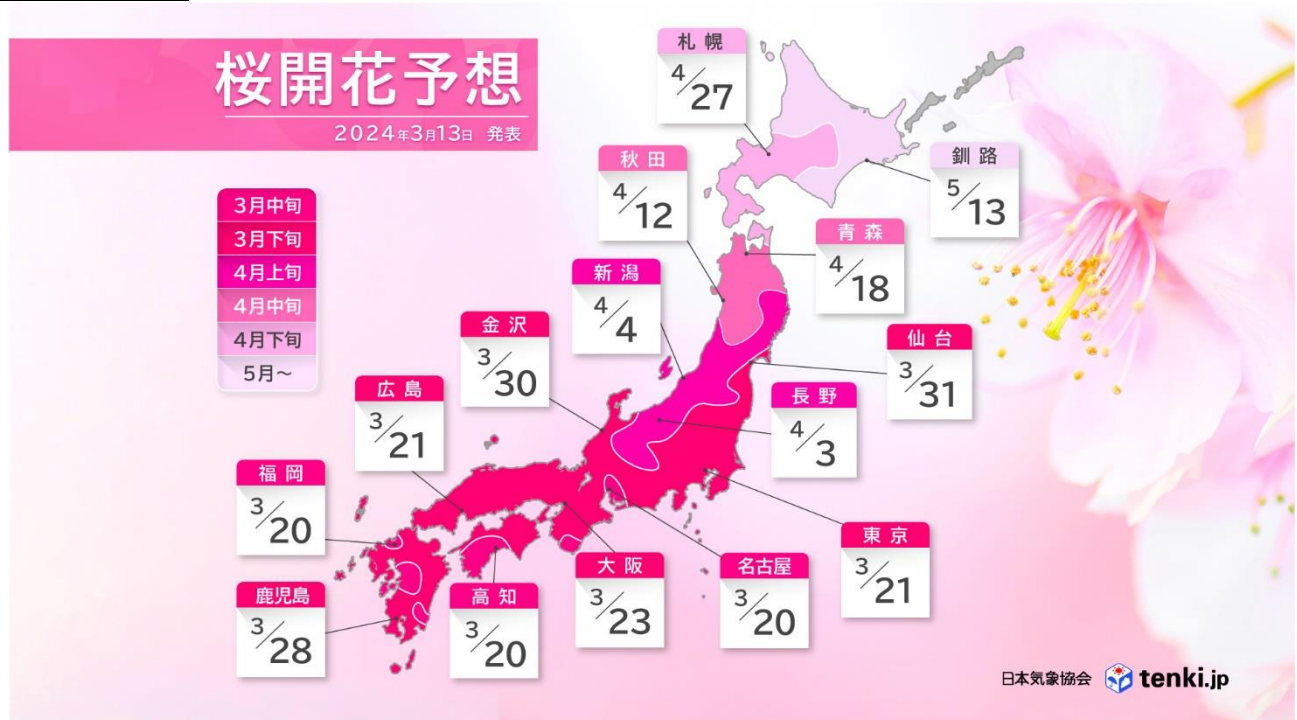
今年の桜の開花は、3月12日に高知県の宿毛からスタートしました。次いで15日には愛媛県の宇和島でも開花する見込みです（※）。気象台の標本木は20日に福岡や高知などで、21日には東京や京都などでも開花し、3月末までに、九州から北陸にかけての広い範囲で開花するでしょう。

※宇和島と宿毛は気象台の標本木ではなく日本気象協会の独自観測地点です。

4月に入ると、桜前線はさらに北上し、4月3日には長野で、12日には秋田で、18日には青森で開花する見込みです。4月下旬には北海道へ到達し、札幌では27日に開花するでしょう。

また、桜の満開は、3月24日の宇和島を皮切りに、こちらも3月末までに九州から関東にかけて広い範囲で満開を迎えるところが多く、4月4日には金沢で、16日には秋田でも満開となるでしょう。

開花予想前線図



開花・満開予想日(主な地点)

桜 開花・満開予想 2024									
2024年3月13日発表									
地点	開花 予想日と平年比		平年開花日	昨年開花日	満開 予想日と平年比		平年満開日	昨年満開日	
釧路市	5/13	早い	5/16	5/1	5/15	早い	5/19	5/4	
札幌市	4/27	早い	5/1	4/15	4/30	早い	5/6	4/21	
青森市	4/18	早い	4/22	4/7	4/21	早い	4/26	4/11	
仙台市	3/31	かなり早い	4/8	3/26	4/3	かなり早い	4/13	3/31	
秋田市	4/12	早い	4/17	4/4	4/16	早い	4/22	4/7	
千代田区	3/21	早い	3/24	3/14	3/28	早い	3/31	3/22	
長野市	4/3	かなり早い	4/11	3/28	4/8	かなり早い	4/16	4/3	
新潟市	4/4	早い	4/8	3/27	4/9	早い	4/13	3/31	
金沢市	3/30	早い	4/3	3/23	4/4	早い	4/8	3/30	
名古屋市	3/20	早い	3/24	3/17	3/29	早い	4/2	3/27	
大阪市	3/23	早い	3/27	3/19	3/31	早い	4/4	3/27	
広島市	3/21	早い	3/25	3/19	3/31	早い	4/3	3/28	
高知市	3/20	平年並	3/22	3/17	3/29	平年並	3/30	3/24	
福岡市	3/20	平年並	3/22	3/18	3/30	平年並	3/31	3/26	
鹿児島市	3/28	平年並	3/26	3/24	4/7	平年並	4/5	4/5	

※釧路市はエゾヤマザクラの予想

日本気象協会 

桜の花芽の様子

	
<p><u>東京の標本木(3月12日撮影)</u> 東京の開花予想日は3月21日です。 まだつぼみは固く、開花まではもう少し時間がかかりそうです。</p>	<p><u>高知県宿毛市の標本木(3月12日撮影)</u> 3月12日に開花し、2024年春の桜開花第1号となりました。</p>

全83地点の桜の開花・満開予想日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーびー)』桜の開花・満開予想ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

【言葉の説明】

平年:1991~2020年の平均値

- かなり早い : 平年よりも7日以上早い
- 早い : 平年よりも3日から6日早い
- 平年並 : 平年との差が2日以内



遅い : 平年よりも 3 日から 6 日遅い
かなり遅い : 平年よりも 7 日以上遅い

以 上

参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。1 月、2 月中は開花予想日のみを発表し、3 月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第 1 回 1 月 31 日(水)	第 2 回 2 月 28 日(水)	第 3 回 3 月 6 日(水)	第 4 回 3 月 13 日(水)
第 5 回 3 月 19 日(火)	第 6 回 3 月 27 日(水)	第 7 回 4 月 3 日(水)	第 8 回 4 月 10 日(水)
第 9 回 4 月 17 日(水)	第 10 回 4 月 24 日(水)		

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で 5~6 輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で 80% 以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 1 月、2 月中は 49 地点、3 月以降は全国で 83 地点の予想を発表します。予想地点は、各地気象台が観測する標本木 53 地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる 30 地点となります。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は 2007 年から桜の開花予想を実施しており、今年で 18 年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。